

子どもたちの教育活動充実のため

学校の働き方改革



保護者・地域の皆様へ

学校、教育委員会の取り組みにご理解とご協力をお願いします。

を進めています。

現状は？

- 教員の勤務時間は **8時15分から16時45分**です。
(7時間45分+休憩時間) ※1
- 早朝や夕方**の対応業務、部活動等は**時間外の勤務**です。
- 国や県と同様に、酒田市でも時間外は「1か月45時間以内」「1年360時間以内」と定めています。

令和7年度 勤務等の実態

- 複数月平均の超過勤務時間が80時間を超える教員数 小：0人 中：1人 ※2
- 年間における月平均の超過勤務時間が45時間を超える教員数 小：41人 中：55人
- 健康診断時における要精密検査該当者の精密検査の受診率(教職員) 84.8%

※1…開始・終了時刻は学校により異なります

※2…過労死の危険性が高まるライン

なぜ必要？

- 勤務時間内に業務が終わらない現状を改善し、授業や生徒指導を中心とした、**教員にしかできない業務に集中できるようにすることが必要**です。

→ **授業の準備や教材を研究する時間の確保**

→ **一人一人の子どもに向き合う生徒指導の時間の確保**

- 子どもの前に立つ教員が、心身ともに健康でいきいきと働くことが、子どもの力を伸ばすことにつながります。




どんな取り組み？

- 保護者や地域の方など、外部との協力**
(登下校や休み時間の見守り、給食準備や図書館利用の補助)
 - 学校行事の精選**
(ねらいを吟味し内容の見直しや廃止・統合、準備期間や規模・時間の縮小)
 - お便りの電子化**
(連絡メールや保護者用サイトの活用)
 - 電話対応の工夫**
(勤務時間外の留守番電話、保護者用サイト用いた欠席連絡)
 - 部活動指導員の配置や休日部活動の地域展開**
(スポーツ文化サポーターの募集、地域クラブの設立準備)
- 等
- **実態に応じ、各学校で工夫して取り組んでいます。**

学校と教師の業務の3分類

教育職員の勤務状況等に関する状況を把握し、その状況を踏まえ、業務分担の見直しや適正化、必要な環境整備等の在校等時間の長時間化を防ぐために取組を推進していきます。

学校以外が担うべき業務	教師以外が積極的に参画すべき業務	教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務
<p>①登下校時の通学路における日常的な見守り活動等</p> <p>②放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応</p> <p>③学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）</p> <p>④地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等</p> <p>⑤保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応</p> <p>※朝の時間帯や下校時間の後に、学校施設で預かり活動を行う必要がある場合は、学校以外の管理体制を構築</p> 	<p>⑥調査・統計等への回答 学校への依頼を減らし、デジタル技術を活用しつつ、事務職員を中心に実施</p> <p>⑦学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理 学校が行う場合は事務職員等が積極的に参画</p> <p>⑧ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理 教育委員会と連携を図りながら、事務職員等を中心に実施しつつ、地域の実情に応じて外部委託も積極的に検討</p> <p>⑨学校プールや体育館等の施設・設備の管理 教師は授業等に付随して行う日常点検を担い、外部委託等も積極的に検討</p> <p>⑩校舎の開錠・施錠 副校長・教頭に固定せず、機械警備、役割分担の見直し等を促進</p> <p>⑪児童生徒の休み時間における安全への配慮 地域住民等の支援や、輪番等を促進</p> <p>⑫校内清掃 児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回数・範囲の合理化等を促進</p> <p>⑬部活動 部活動の地域展開・地域連携を推進</p> <p>※専門スタッフとの協働、デジタル技術の活用や外部委託の促進については、地方公共団体の関係機関が積極的に参画</p>	<p>⑭給食の時間における対応 食に関する指導については、栄養教諭等が対応</p> <p>⑮授業準備 教材の印刷など補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを実施、デジタル技術の活用を促進</p> <p>⑯学習評価や成績処理 採点作業等のうち補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを中心に実施、自動採点等のデジタル技術の活用を促進</p> <p>⑰学校行事の準備・運営 関係機関との日程調整や物品の準備等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進しつつ、必要に応じて外部委託等も検討</p> <p>⑱進路指導の準備 就職先に関する情報収集等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進</p> <p>⑲支援が必要な児童生徒・家庭への対応 専門スタッフとの協働等を促進</p>

教育活動を充実させるためにどんな取り組みができるか、学校・保護者・地域のみなさんと一緒に考えていきましょう！